

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2025年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	専門演習Ⅰ		
担当者(Instructors)	吉村 美路	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)
本ゼミでは、ビジネスシーンで起こる人間の心の動きについて学んでいきます。キーワードは「組織行動」「キャリア形成」「社会心理」の3つを軸としています。[専門演習Ⅰ]では、ビジネスにおける消費者心理と、それを売る人間のビジネスマンの行動を社会心理学的視点から学びます。自身の職業人としてのイメージを描けるようになったところで、後期の[専門演習Ⅱ]のキャリア形成に繋げていきます。 ※授業は基本対面で実施しますが、必要と判断した際にはビデオ会議システム(meet等)を利用したオンライン講義に切り替えます。

■ 授業形態・授業の方法(Class form)	
授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	学外活動・講義・演習の方法をとります。 グループワークや、必要に応じてディスカッションも交えながら進めていきます。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)			
回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション	ゼミの運営方法についてルールの説明と相談 自己紹介とスケジュールリング	☐
第2回	ビジネス世界：基本の「き」	ビジネスにおける２つの関係：「個人と組織の関係」	☐
第3回	個人心理と組織のあり方Ⅰ	働くことで幸せになれますか？：「個人と組織のWIN-WINの関係」	☐
第4回	個人心理と組織のあり方Ⅱ[ワーク１]	自分が興味を持った企業または業界を１つ挙げ、その組織で働く人・顧客の特徴、消費者の心理・生産者側の意図を調査する。	☐
第5回	個人心理と組織のあり方Ⅲ[ワーク２]	ワーク１の結果を踏まえ、それぞれ3分スピーチ⇒ゼミ生全員でディスカッションを行う。	☐
第6回	個人心理と組織のあり方Ⅳ[報告会]	ワーク２のディズカッションを生かしながら、結果を発表する。	☐
第7回	実践活動Ⅰ：合同企業説明会参加準備	ゼミ生全員で参加する合同企業説明会準備。参加登録および当日段取り説明。[報告会]で調べた業界を確認。	☐
第8回	実践活動Ⅱ：合同企業説明会参加	ゼミ生全員で合同企業説明会参加。 ※オンラインorリアル	☐
第9回	実践活動Ⅲ：合同企業説明会振り返り	業界ごとのチームに分かれてディスカッション	☐
第10回	実践活動Ⅳ：合同企業説明会報告会	業界ごとのチームに分かれて発表	☐
第11回	自己分析Ⅰ：性格テスト・行動特性	心理テストを用いた自己分析を行います。主に性格特徴や行動特性について、考えていきます。	☐
第12回	自己分析Ⅱ：ワーク	自身の心理分析結果を見て、改めて興味のある仕事や業界とマッチするかグループで検討する。	☐
第13回	行動計画Ⅰ	志望する企業や業界の採用計画を調査（インターンシップ募集時期・求められる人材像など）	☐
第14回	行動計画Ⅱ	夏季休暇中のインターンシップ参加計画、参加にあたっての注意事項	☐
第15回	まとめ	前期の振り返りとまとめ	☐

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)
日常的に組織のビジネス戦略や働いている人材像について、興味関心を持つこと。【事前学習】授業のテーマについて、関連する自己の体験や印象的な事例をピックアップしておくこと（2時間程度）。【事後学習】学んだことを再確認の上、自分なりに再考すること。課題が与えられたときは、その日のうちに解決するよう心がけてください（2時間程度）。

--

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)
提出したレポート等は適宜添削し、返却する。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)		
区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
主体性	◆ 2021地域ビジネスDP3	地域の組織にできる事と、地域の組織にしかできない事を把握し、自身のキャリアがどちらの組織において、社会貢献できるかを考えることができる。自身のこれまでの経験が、目指したい組織でどのように生かせるか考え、行動することができる。

■成績評価(Evaluation method)				
筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			100%	
授業内試験等(具体的内容)(Specific contents) 授業内の積極的提言・課題レポート・発表の3点で評価します。				

■テキスト(Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	教科書として購入する必要はありません。必要に応じ授業の中で書籍を紹介したり、プリントを配布します。	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		